学習のきまり

1　授　業

（１）学習準備

ア　授業が終わったら、次の学習に使うものを机上に出しておく。

イ　机上に、教科書、ノート、下敷き、消しゴム、鉛筆、赤鉛筆、青鉛筆（５，６年は赤ペン・青ペン可。多色ペンは不可。）を出しておく。（筆入れはなるべく出さない。）

ウ　教科書は左側、ノートは右側におき、学習するところを開いておく。

（２）始め

ア「起立」の号令で、「気をつけ」の姿勢をとる。

イ　教師が１歩下がったら、「今から〇〇の学習を始めます。」の号令で「はい」（全員）と言い、しっかり頭を下げる。

ウ　教師が１歩前へ戻ったら「着席」の号令をかけ、すわる。

（３）授業中の姿勢

ア　話す人の方を向いて聞く。

イ　足の底を床に付けて背筋を伸ばす。

ウ　ノートに書くときは、背筋を伸ばして、鉛筆を持たない手でノートを押さえて書く。

（４）終わり

ア　「起立」の号令で「気をつけ」の姿勢をとる。

イ　教師が１歩下がったら、「これで〇〇の学習を終わりにします。」の号令で、「はい」（全員）と言い、しっかり頭を下げる。

ウ　「わかれ」の号令を聞いてから、次の授業の用意をして休み時間にする。

（５）聞き方

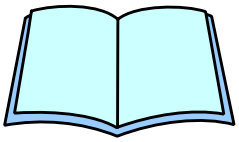
ア　話し手の方を見て、大事なことを落とさず正しく聞き取る。
※詳しくは「聞き方あいうえお」等を参考にする。

（６）書き方・ノートのとり方

ア　正しい鉛筆の持ち方で、目は紙面より３０センチ以上離して書く。

イ　書き順と形に気をつけ、丁寧に書く。

ウ　通常は鉛筆を使用する。



エ　教科ごとに決められたノートを使う。

オ　ノートは、学年で決められた形式のものを使用する。

カ　「ノートの使い方」をノートにはり、よいノートづくりを意識する。

キ　表紙には、学年、学級、番号、氏名をていねいに書く。

ク　その授業のめあて、日付、学習内容、ページ、番号などを入れ分かりやすいまとめ方が工夫できるようにする。

ケ　本時のめあては赤で、まとめは青で囲む。（どの教科も）

（７）返事・話し方

ア　指名されたら「はい」と大きい声で返事をする。

イ　話すときは「～です。」「～ます。」と最後まではっきり答える。

ウ　発表のし方（例）
「わたしは、～だと思います。そのわけは、～だからです。」
エ　質問のし方（例）
「～について質問します。～は～ですか。」
「～さんの意見の～はどういうことですか。」
「分からなかったので、もう一度発表してください。」
※詳しくは「話し方かきくけこ」「話合いの仕方」を参考にする。

（８）手の挙げ方
ア　手をまっすぐ挙げる。次の意見を言うときに、「○○さんにつけたし」「○○さんに質問があります。」などと言って手を挙げる。

（９）声の大きさ
ア　「声のものさし」を利用する。

１の声…となりの人　　２の声…グループの人
３の声…教室のみんな　　４の声…号令など

2　学習用具
（１）教科書、ノート類等学校で決められたふさわしい物を使う。
（２）筆入れには鉛筆を５本と赤鉛筆、青鉛筆（５，６年は赤ペン・青ペン可。多色ペンは不可。）、消しゴム等、先生から指示があったものを入れる。（マーカーペンは５，６年のみ１本可。）（シャープペンシルは小学校では使わないので、持ってこない。）
（３）キーホルダーなど余計なものは持ってこない。
（４）鉛筆は毎日家で削ってくる。削らなくてはならない場合は、休み時間に削る。
（５）下敷きを必ず用意する。
（６）ミニ定規を用意する（３年生以上）。※長さ１５ｃｍぐらいで透明なもの。

3　机の中
（１）左側に整理箱、右側には、教科書・ノート・下敷き・筆箱を入れる。
（２）整理箱の中には、はさみ・のり・色鉛筆・クレヨン（クレパス）・書き方ペン・ネームペン・三角定規・コンパス・物差しなど、学年で使用する物を整理して入れておく。

4　体育のきまり
（１）体育着・赤白帽子　　※帽子のゴムはあごにかける。
（２）着替えた服をたたんで、服装を整えてから移動する。
（３）体育館では、体育館用シューズに履き替える。

5　家庭学習
（１）時間を決めて、集中して学習をする。
（２）学年のめやすとしている学習時間は取り組む。
【めやす】学年×１０＋１０　　例：1年－20分　3年－40分　6年－70分
※家庭学習強調週間の時は、「学年×１０＋２０」となる。

（３）自分で自分から学習をする。（自主学習）
（４）時間割や連絡帳を確認して、明日の学習の用意をする。